

宮津市 養老地区

ヒアリング対象：Fさん、Tさん、Gさん、Sさん



小山有美恵さん

上世屋と京都市内の往復生活
「セヤノコ」主催



○養老地区のことについて

- 自治会として1ターン者の受入れや空家斡旋はしていない。でも空家は増えている。
- 人数が少ないので親の役員もみんなしないといけない。して当たり前になってる。何度もしないといけない。
- 年寄りの目があることで子どもの素行がよくなる。
- 学校での廃品回収に地域住民も積極的に協力。学校と地域お互いで協力。
- 学校で文句を言うような親も少なく平和。学校と地域との信頼関係。
- 野菜は年寄りさんが畑でつくってくれて助かる。
- 魚は夫が採ってきたりスーパーに買いに行ったり、もらったり海沿い地域でもいろいろ。
- 公民館のスポーツ事業に子どもが大人と一緒に参加させるようになって大人が思いっきり遊べなくなってる。



○学校（通学や学校生活）について

- ・小学校は42名、中2は9名いる。
- ・給食は地域のもが出る。小学校のみ給食センターあり。中学校はお弁当。地域住民による差し入れ（アカモク・タルイカ）たら学校が児童に出してくれる。
- ・補習を学校でしてくれる。家で進研ゼミをやる子もいるが、塾行く必要はない。成績の悪い子は補習に呼ばれ、出来る子でも参加OK。勉強会に地元の大学生が教えに来てくれる。
- ・クラブは女の子はバレー、男の子は野球部。選べない。でも陸上の駅伝とかがあれば練習しないといけない。子どもが少ない分いろんな事をこなさないといけない。野球なら野球に集中に出来ない。人数が足りず試合に出れないことも。
- ・どこの高校にいても養老からは遠い。それぞれ特徴がある。子どもが選ぶこと。親の目が届かないのが怖くて下宿させるのは少ない。バス代が高い。
- ・岩ヶ鼻・大島以外は小学校はバス。学校終わってからは学校で遊ばせてくれて遅いバスで下校。水曜日は職員会議のため早く帰る。放課後の遊びの交通手段（自転車を使ってよいか）年齢とルールがある。

○子育てに関して

- ・養老は子育てにはいいほうだと思う。
- ・長期休みに子どもをみるのはおばあちゃんか、中学年以上は自分で遊べる。
- ・おじいちゃん・おばあちゃんは子育てを手伝ってくれる。周りからは羨ましがられるがないものねだり。大変なこともたくさん。嫁姑問題。
- ・最近の子どもは海で泳がなくなっている。野山をかけまわる子が少なくなっている。山に入りにくくなってる。海当番もあるけど少ない。
- ・消防に子どもを連れてきてたりなんでもありの時代になってるように思う。注意するものがない。親の感覚がかわってきてる。
- ・わいわいクラブにいったる子も多い。女の子ばかり。今年は20名。